

第三回「生涯学習賞」今年も表彰

～大賞百万円を贈呈～

自治体での独自の表彰

生涯学習賞は亀岡市生涯学習都市宣言の「人間の尊重を基本として、生涯にわたり学び続け、その成果をまちづくりに生かしていく」(抜粋)という基本理念を全国に発信し、また全国各地域の生涯学習によるまちづくりの推進に寄与し、市民の学習意欲と文化水準の向上に資することを目的として平成十三年度に創設しました。

これまでの表彰

本賞は長年にわたり生涯学習などの研究活動・実践活動に携わり、その推進に多大な貢献をされた個人あるいは団体・グループを、生涯学習賞選考委員会(選考委員長上田正昭京都大学名誉教授)が選考し表彰するものです。

毎年十一月三日に本賞を
発表し、賞状
及び副賞(大
賞百万円、奨
励賞三十万円)
を贈呈します。



エットーレ・ジェルビ氏の受賞

第一回目は生涯学習大賞「石田梅岩賞」に「エットーレ・ジェルビ」(ユニエスコ生涯教育部門の元責任者)、生涯学習奨励賞に「NPO法人全国生涯学習まちづくり協会」(生涯学習によるまちづくり事業への支援など広範な活動を展開)に贈呈。

第二回目は生涯学習奨励賞に「寄る会みなまた」(水俣病の貴重な教訓を生かし市民が地域への誇りと愛着につながる活動を展開)、「亀岡市吹奏楽団」(長年の演奏活動を通じ地域の音楽文化の発展に貢献)、「花と緑の会」(花と緑のまちづくりを進める先駆的取り組みを展開)の3団体をガレリアかめおかで表彰しました。



生涯学習奨励賞の贈呈式

詳細は亀岡市ホームページ
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp>
もしくは協議会ホームページ
<http://www.gakushu.jp>
を「参照」してください。

(亀岡市生涯学習総務課 竹村)

十五周年を迎えた亀岡生涯学習市民大学とは！ 成り立ちについて

亀岡生涯学習市民大学は、昭和六十三年(一九八八年)三月の生涯学習都市宣言を受け、亀岡市の生涯学習の三大シンボル講座(コレージュ・ド・カメオカ、市民大学、丹波学トーク)の一つとして平成元年(一九八九年)に開校。学長には、亀岡市在住で京都大学名誉教授の上田正昭先生を迎え、本年度で十五周年を迎えました。

この市民大学は、住民の学習ニーズの高度化に対応した高等教育レベルの講座を提供するものとして、大学教育の経験を持つ教授などによる高度な学習内容を市民向けにアレンジして提供しています。



亀岡生涯学習市民大学学長(京都大学名誉教授)上田正昭先生による講演

市民の主體的な運営形態へ

平成四年度からは、受講生の中から運営委員会を設置し、企画・運営に市民が主体的な立場で取り組み、「市民の、市民による、市民のための市民大学」を目指し、講座内容にあって幅広い学習ニーズや、社会の課題に即応するテーマを設定して運営しています。

今後は、今日まで培われてきた市民参画による運営委員会により、市民の学習の継続や発展を図るとともに、循環型の生涯学習理念に沿った学習活動や、社会的な活動支援にも重点をおいた市民大学の学習システムを構築し、「人づくり」を基本にしたまちづくりを目指しています。



朝鮮学校と日本学校との交流の中で

(亀岡市教育委員会社会教育課 藤田)